



故 ヘインズ米国硫黄島協会 会長



かつての敵が合同で慰霊祭を続けているのは世界で唯一硫黄島のみ



日米合同慰霊祭に続いて日本側の慰霊祭も行われる（天山慰霊碑）



自衛隊C-1輸送機で約2時間、ベンチシートに座る



摺鉢山は活火山。島の隆起により未だ港が造れず。防波堤代わりに置かれた米艦船の残骸





昭和20年2月19日、米軍が上陸した南海岸。奥に摺鉢山



摺鉢山頂上の硫黄島戦没者顕彰碑。揮毫は岸信介元総理の手による



かつてこの海が見えなくなる程の米艦船が



摺鉢山中腹のトーチカ



海水が地熱により蒸留され淡水となる。昔も今も島内唯一の真水、銀明水



硫黄が熱水と共に噴出している硫黄が丘



大坂山砲台。砲身には着弾したままの敵砲弾が残る



硫黄のにおいと立ち上がる水蒸気



放置されたままの米軍M4(シャーマン)戦車

